

令和3年度事業報告

概要

我が国の経済は昨年に引き続きコロナ禍で大きく停滞し、令和3年度は夏以降感染者数も落ち着き緩やかな回復基調でしたが、冬に入ると再び猛威をふるい今までにない感染者数となり、これにロシアがウクライナを侵略するという蛮行が重なりさらに経済状況は落ち込んだものとなっています。

こうした中、当センターでもコロナ禍で定時総会は人数制限での開催、地区会議、専門委員会、各教室の開催中止やボランティア活動までも制限された上に、会員互助会は解散となるなど、会員間の同じ働く仲間としての親近感が希薄になっているのではないかと考えられます。このような状況は事業実績にも影響し、受託事業は昨年度と比較すると徐々に回復し当初予算額は実現できそうですが、労働者派遣事業は0件になりました。

重要課題とした会員の確保は、会員説明会を開催しても予約した方が、コロナ禍を避ける為に参加されないなど、少数での参加でその中からの入会者は数少なく、例年3月末で引退される会員が多く、結果226名となり昨年度比で15名の減となりました。この為会員募集と合わせた就業開拓の啓発では従来の機関紙「シルバー太宰府」の紙面を改めることを総務広報と就業機会開拓両委員会で議論し全世帯配布を行いました。効果は来年度の会員数に現れると思います。

安全就業では、就業現場のパトロール実施、結果報告の配布によって、会員皆様の安全に対する意識が向上し、前年と比べ事故が減少しました。引き続き安全就業に努めます。車両を運転する会員は、特に安全運転に集中してもらうよう努めます。

また、新型コロナウイルス感染防止策としては、会員皆様の高い防止意識が幸いし爆発的感染者の発生の中でも当センターは極少数で推移しました。引き続きマスク着用、手洗い、密集にならない就業、休憩や食事での会話でも感染防止に努めましょう

今後、コロナ禍が収束するまでは、感染防止の継続と注意喚起を行いながら入会の促進と事業の実績向上に向けての更なる取組みを行い、安定的な運営を構築しなければなりません。これらを実践するためには、今まで以上に会員、役職員が一体となって事業の効率化や経費削減を推進すると共に事業開拓に取組み、地域社会に貢献することにより、市民の信頼を得ることが必要です。

定例理事会を計4回開催。各専門委員会は出来る限りにおいて開催しました。
事業実績は 12,645万円、会員数は3月末で226名。

以下、令和3年度の具体的な取組みについて報告します。

- 一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援

就業開拓提供等事業

(1) 受託事業

地域に根ざした就業促進、高齢者の生きがいや社会参加意識の高揚に繋がる活力ある高齢社会の推進に努めました。

- ・ワンコインサービス事業は、70歳以上の高齢世帯を対象とし電球交換等簡単・安全・短時間の作業を実施しました。事業実施は 22件の実績でした。
- ・個人宅等における庭木の剪定作業や草取り作業
- ・市から委託を受けた市内草刈作業、公園等の清掃・草取り作業
- ・子育て・福祉・家事援助サービス事業
- ・介護予防日常生活支援総合事業
- ・事業所から委託を受けた清掃作業など
- ・着物着付け(七五三、成人式、入・卒業式)サービス事業

受託事業実績(令和3年度)

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
206 人	24,064 人	100.4 %	122,979千円

(2) 独自事業

高齢者の知識、経験、能力を活用し会員の創意工夫をこらした多様なサービスの展開を行い地域社会に提供し事業の推進に努めました。

- ・地域の公民館やJAゆめ畑において週2回(1、2月を除く)、一般家庭の包丁や剪定鋏などの刃物研ぎを実施しました。
- ・いきいき情報センター等で一般市民を対象にしたパソコン教室を実施しました。
- ・女性会員による古着等を利用した布小物等の製作、センター内で展示販売しているが、来所者も限られ他イベントでの出店も昨年同様叶わず販売は僅かで、会員が集い交歓することで意識が保たれています。
- ・革製品製作に精通した会員の指導により基礎知識を学ぶレザー教室を開催
- ・樹脂粘土を使用した作品作り教室を開催しました。精巧な出来栄えの草花が人気があります。
- ・養蜂事業(西洋ミツバチ)を2月中旬から巣箱を設置し取組み開始しました。生き

物であり自然環境にも左右されたが、蜂蜜は順調に採取できました。しかし、越冬に失敗しました。この経験を今後も生かしていきます。

・移動スーパー販売事業

高齢者も含め地域で買い物に苦慮しているという声を聞き、センターとして地域課題の解消を支援したいという思いから、事業を開始しました。

買い物に不便を感じている地域の皆様のところへ、毎週1回市内22箇所の駐車場所を巡回しました。

前年度と比較すると売り上げは増えたが、安定的な運営の為には、相当な利用増を図っていかなければなりません。

独自事業実績 (令和3年度)

就業実人員	就業延人員	契約金額
21人	802人	3,472千円

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業

労働者派遣事業

労働者派遣事業に係る業務については、連合会と派遣労働契約及び雇用契約について事業相談を行なったが実施にいたらなかった。

太宰府市実施事務所 (令和3年度)

就業実人員	就業延人員	雇用就業率	契約金額
0人	0人日	0%	0千円

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査研究等

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

・総務広報委員会で、機関紙「シルバー太宰府」、会員だより「宝満」を発行し情報の発信に努めました。この中で「シルバー太宰府第48号」は従来の紙面内容から、就業紹介、会員募集、派遣に繋がる内容となるよう就業機会開拓委員会と合同で立案し発行した。

- ・シルバー事業の理解と支援が得られるよう、市民や事業所等に広く周知するため、機関紙、ホームページ、facebook、インスタグラムや太宰府市の広報誌などを活用した広報と情報公開を実施しました。

(2) 社会参加活動

シルバー事業の理解と周知及び地域社会に少しでも寄与するためボランティア活動を実施しました。地道な取り組みであり素晴らしいことなので、もっと市民に認識してもらおう、アピールしても良いのではと思います。

- ・会員によるボランティア班「里山を守る会」が政庁跡周辺と市民の森、御笠川遊歩道、政庁通りのゴミ・空き缶の回収などの美化活動を定例で月1回実施しているが、コロナ禍で2回しか実施できなかった。参加者は22名でした。
- ・毎年10月の全国シルバー人材センターグリーンデーを、16日(土)に実施した。各地域区の通学路や公園等の清掃・美化活動に118名が参加しました。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

・「安全はすべてに優先する」の理念のもと、自らの健康を維持し、センターが提供する仕事を安全・適正に遂行できるよう啓発活動を行い安全意識の高揚を図りました。猛暑やコロナ感染への危険性が高まった状況にもかかわらず、会員皆様の意識がけから事故の発生件数は8件と減少できました。

- ・「安全就業決起大会」
令和3年8月2日
約43名参加 当センター玄関前
- ・福岡県連合会主催の安全就業促進大会 令和3年10月30日
3名参加 福岡市早良区東市民センター
- ・「安全就業促進大会」は新型コロナウイルス感染症拡大期の為中止しました。
- ・安全標語の募集は75点の応募があり、中から作品3点を選びました。
- ・安全適正就業委員会で就業現場を巡回し「安全に対する心構え」、「作業前のミーティング」、「作業道具の整理」等の状況など安全作業チェック表によりチェックを行い、安全就業に関するパトロールを5回、延べ22か所のパトロールを実施しました。パトロール結果報告を配布し安全就業に繋がるよう努めました。

(2) 適正就業の徹底

- ・就業適正要綱に基づき、センターの趣旨目的に沿った公平で適正な就業機会の提供を進めました。
- ・ワークシェアリング等により多くの会員に公平な就業機会を提供するため、会員の

希望に沿った就業提供、未就業会員の解消に努めました。
・職種あるいは作業現場毎にグループを編成、打ち合わせを実施し、ワークシェアリングの可能な限りローテーション枠を拡大し公平な就業機会の提供を図りました。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

会員及び入会を希望する方を対象に随時、来訪や電話等により就業相談を行いました。就業先相談会を令和4年2月14日～18日に設定しましたが、相談は有りませんでした。

(2) 入会説明会の開催

入会説明会は毎月1回開催し、希望する就業について個別の面談を行ない入会促進に努めました。なお、説明会以外でも随時希望者に対して説明を行っています。

4 研修・講習事業

当初計画していた新入会員研修会、AED 操作、健康講座他コロナウイルス感染防止のため開催していません。

(1) 訪問型生活支援担い手研修 令和3年10月9日～12月10日までの計6日間
5名参加 プラムカルコア太宰府
訪問型サービス事業所で働くことができる資格を取得されました。

(2)刈払機技能講習会 令和3年7月19日、20日の2日間
2名参加 筑紫野市シルバー人材センター

(3) 剪定・チェーンソー技能講習会 令和4年2月15日、16日、17日の3日間
4名参加 四王寺県民の森研修棟